

植物多様性センターの「オニバスの葉の七変化」

オニバスはスイレン科の1年性の水草です。芽が出てしばらくは、細長い馬蹄形の切れ込みのある葉をつけます。だんだん大きくなると、切れ込みは閉じて丸くなり、たくさんのトゲを葉の裏表だけでなく、葉柄にまでびっしりつけます。トゲは水中の生き物の食害から身を守ると同時に、濃い紫の葉裏のシェード効果と合わせて、他の水生植物との光の争奪戦にも役立っているようです。



若い葉:最初は薄く艶があり、小さな斑点のみでトゲはない



大人の葉:切れ込みは閉じて丸くなり、厚ぼったくしわしわに



展葉前の大人の葉裏:ピンクで葉柄・葉脈までトゲがびっしり



展葉後の大人の葉裏:濃い紫は、水中への光を遮蔽する?